



進路ニュース

令和元年PTA総会号
藤代高等学校進路指導部



1 4月進路希望調査について

(1) 進路希望状況

進路希望	1年		2年		3年		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
大学	196	81.7%	200	83.3%	206	87.7%	602	84.2%
短大	6	2.5%	0	0.0%	2	0.9%	8	1.1%
専門学校	15	6.2%	14	5.8%	21	8.9%	50	7.0%
就職	2	0.8%	3	1.3%	3	1.3%	8	1.1%
未定	21	8.8%	23	9.6%	3	1.3%	47	6.6%

(2) 大学・短大希望者の中の国公立・私立の希望

進路希望	1年		2年		3年		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
国公立	70	29.2%	84	35.0%	100	42.5%	254	41.6%
私立	28	11.3%	66	27.5%	106	45.2%	200	32.8%
未定	104	43.4%	50	20.8%	2	0.9%	156	25.6%

(3) 1年生 藤代高校に入学した理由

理由	男子		女子		1学年計	
通学に便利だから	19	15%	17	15%	36	15%
進学校だから	25	20%	31	27%	56	23%
部活動が盛んだから	34	27%	3	3%	37	15%
学校の雰囲気が好きだから	11	9%	24	21%	35	15%
施設設備が整っているから	0	0%	0	0%	0	0%
親や兄弟が通学した学校だから	3	2%	9	8%	12	5%

(4) 藤高生の希望の進路は国公立大学

進路希望調査の結果をみてみましょう。「(3) 藤代高校に入学した理由」によると、藤代高校が**進学校だから入学した人が最多**になっています。ここでの進学の意味は「(1) 進路希望状況」からすると当然、**約9割を占める大学進学**ということになります。そして、「(2) 大学・短大希望者の中の国公立・私立の希望」の回答によると**多いのは国公立大学**になります。つまり藤高生の**入学時からの進路希望は国公立大学進学**ということになります。藤代高校もみなさんの国公立大学合格を応援していきます。

2 今回のテーマ ～「地方国公立大学を考えてみる」

藤高生の希望に沿い、もっとも親孝行なのは自宅から通学できる国公立大学に入学することであるのはまちがいないです。まずはそれを目指しましょう。そうは言っても、**自宅通学できる国公立大となると、難易度が高い大学が多い**です。近隣の国公立大は首都圏の高校生全員にとって通いやすく、加えて大学入学を機に上京したいと考えている地方の生徒もたくさんいるので、自然と志願者が多くなるからです。一方、**私立大も定員厳格化の影響で偏差値が急上昇**しています。

そこで今回は、狙い目である、地方国公立大学という選択肢について考えてみましょう。

(1) 地方国公立大学はMARCHと同等以上

マイナビという大学生が就職する時に利用する企業の人が進路室を訪れてくれました。大学生が就職する時の、いわゆる「学歴フィルター」の話題になったのですが、**MARCHクラスの大学がOKであれば、国公立大が学歴フィルターにひっかかることはまず無い**そうです。一口に国公立大学と言っても偏差値に差がありますが、どうですか？と聞いてみましたが、「たとえば福井大と香川大とどちらが上かなんて、いちいち考えませんよ。**国公立大でひとくくりです**。地元企業なら地元国公立大を優遇することはあるかもしれませんが。また東大・京大限定とかのケースもあるかもしれませんが、その時はMARCHもだめです。」とのことでした。

※MARCH…明治・青山学院・立教・中央・法政大学のこと

(2) 地方国公立大学とMARCHはどちらが入りやすいか

MARCHクラスの私立大に合格するためには最低でも進研マーク模試偏差値が文系で66（法政・キャリアデザイン）、理系で62（法政・理工）が必要です。日東駒専でも最低58（専修・商）です。一方、国公立大は文系で49（鳥取環境・経営）、理系では48（琉球・工）で入れる大学があります。と言うと、いまさら言われても私はもう私大型の3教科の勉強に絞っちゃったという3年生がいるかもしれませんが、**3教科型試験の国公立大もたくさんあります。文系で偏差値50（釧路公立・経済）、理系で52（山口・工）からあります。**私立大だと文系では関東学院大、理系では神奈川大レベルということになります。詳しくは担任の先生に相談してみてください。

(3) でも、下宿するとお金がかかるんだよね

たしかに下宿すればお金がかかります。しかし、PTA総会で行なわれる進路講演会の講師である、鳥取大学・山田貴光准教授に2年前に聞いた話では、**鳥取大学生の4人に1人は家賃1万円未満の部屋に下宿している**とのこと。都内では駐車場代にもならない金額です。自宅から都内の大学に通う定期券代よりも安いかもしれませんね。もともと授業料は国公立大の方がぐっと安いので、そのあたりのことも含めて**PTA総会にご出席の保護者の皆様には、山田先生の進路講演会を是非聞いていただきたい**と思います。

(4) 結論です

私立大第一志望の人も自宅通学希望の人も、地方国公立大学も考えてみてほしいと思います。両方受験してみて、両方合格したら好きな大学に入学してください。ただ、第一志望の大学に合格できずに**ランクを落とした私立大に行かなければならない状況で、MARCHと同等以上の「地方国公立大学」という選択肢は、まさに地獄に仏になり得る**と思います。

首都圏の大学が**定員厳格化をすすめ、かつセンター入試最後の年**で、受験生全員、何が何でも現役合格志向の今年は特に、**選択肢は広げておいた方がよい**と思います。

(5) 国公立大学への近道（抜け道？）はあるのか 【1年生よく読もう】

国公立大学へ合格するための近道はあるのでしょうか？誰だって楽に合格したいと思いますよね。それでは国公立大学について研究してみましょう。

”東大の入学定員の30.6%（3063人中938人）、京大の入学定員の33.3%（2866人中955人）が工学部です。東大、京大を目指すなら、工学部が有利と言えます。マンガ『ドラゴン桜』では東大の理科一類（工学部進学者が多数）を狙っていましたが、正しい戦略です。**国立大学の入学定員の74%が理系です（これは近年の文系縮小前の数字で、今後はさらに上昇）。**”

これは日本のすべての4年制大学773校を訪ねた山内太地氏の「世界の大学見学記」より抜粋したものです。2015年に書かれたものですから、現在ではもっと割合が上昇しているものと考えられます。狭い上に混雑している道を押し合いへし合い通るよりも、広くて、すいている道を通る方が早いことは明らかです。つまり国公立大学に入る**抜け道はありませんが広い道はある**ということです。

文系か理系か迷っている人には、迷ったら理系の方が国公立大学には入りやすいと言えます。同じ大学で学部間の偏差値の差があるのかを実際に比較してみましょう。2018年度の進研模試偏差値によると茨城大学の人文社会科学部の偏差値56に対して、工学部は54です。山形大学だと人文社会科学部の偏差値56に対して、工学部は53。**富山大学の人文学部が偏差値58に対して工学部は54**です。概して文系学部と理系学部を比べると、定員が多くて偏差値が低い＝入学しやすいのが工学部をはじめとする理系学部と言えるのかもしれませんが（もちろん医学部とかは別ですよ）。

ということで、数学ができないから文系に進むなどということがゆめゆめないように、**1年生のうちからしっかり英数国を学習することが国公立大学への近道であり王道**です。